



～気をつけましょう、この季節～

■気温の変化に注意

暑い夏が過ぎ、スポーツに最適の季節になりましたが、寒暖差には注意しましょう。

天候による気温の変化、昼夜の寒暖差等、変化の大きな季節は続きます。準備体操の徹底、待ち時間のストレッチのお声掛けなど、変わらぬケアが必要です。

感染症対策のため、扉を開放しているインドアコートも多く、外気温の影響を受けやすい状況もあるかと思えます。インドアコートでも通常時以上にお客様の体調に気を配りましょう。

■マスクの下の表情に注意

マスクの影響による熱中症も増えています。

感染症対策でマスク着用でのプレーを推奨されているスクールが多いと思います。

マスクをしての運動のリスクを理解し、お客様の体調に気を配りましょう。

特にジュニアは自分も体調に気づくのが遅くなった、自らの判断で休んだりマスクを外したりできません。いつも以上に注意して、マスクの下の表情を読み取ることが重要です。

水分補給をマメに実施し、マスクを外した時の表情を観察するのも良い方法です。

■久しぶりに運動する方のケアを

徐々にリモートワークが浸透し、通勤等で身体を動かす機会が減りがちな昨今、運動不足解消目的でご入会される方も多いかと思えます。

急激な運動は怪我のもと。スポーツ経験や直近の運動歴をお聞きして、その方に合った負荷で楽しんでいただけるよう丁寧なケアをしましょう。

～コロナ禍においてケアすること～

マスク着用が標準となった現在ですが、感染拡大状況を受け、お客様も神経質になっています。

特にマスク着用についてはクレームとなるケースも増えているようです。「他の会員がマスクを外していてこわい」「コーチのマスク着用が甘かった」等、マスクに

関する声を聞くことが増えました。まずはスタッフのマスク着用を徹底しましょう。

また、お客様へのマスク着用のご案内については、レッスン開始時、ドリル変更時（説明時）、ボール拾い時など、節目節目でマスク着用を案内すること、さらには未着用になっている方へのお声がけをしましょう。

スタッフが徹底していること、こまめなお声がけなどでスクールの姿勢を見せることが大事です。



～Web活用にケアを～

緊急事態宣言等により在宅勤務が増え、仕事や授業など、リモートの機会が激増しました。多くの方がWebを利用するようになり、ビジネス、広告宣伝においてもWebの活用はより大きな要素となりました。

一方でWebの危険性も高まっています。安易な画像コピーや引用で高額請求が来た事例は後を絶ちません。SNS投稿からの炎上、スパムメールによるウイルス感染も無くなってはいない現状です。

Webの正解は玉石混交。有益なものもありますが、落とし穴もたくさんあります。ひとりのミスが大きな損失につながります。Web活用について社内ルールを整備し、運用状況を管理しましょう。

安全委員会では、Web活用とそのリスクや、著作権等の権利関係についても取り組み、セミナー等での発信をして参ります。ぜひご活用ください。

考え得るリスクを理解し、安全な運営をすることで、「だからテニス」が良かった！と思っただけの施設にしましょう！

